



くくの鳥や

おのやまをゆくを年 井文

蓬茸の葉波を 暮 對山

微かなるもはれまをくおのくも 一歩

あつきの香りの 障らん香のく 沙水

旅の志のくくく 中庭窓 明景

四の家や懐るは移りたる香 海峯

君の代の夢を 程の程のく 松嶺

別子もつ 廻りのくくくやもつ香 甘香

樹をよそ 中庭のくくくは代の本 五葉

ゆるゆるい 香のくくく 四如

富士の夢のくく 一々手 巻 逸理

さあくの年 玉りのや荒の中 寿存

篋りくぬ 人の香や居 籠の破 栞一

左我もや大 若くはかきり 林 知波

隣りくぬ 玉りのくく 清き水 福司

香集 松珠

